

気軽に本音で SHIROI トーク

結果報告

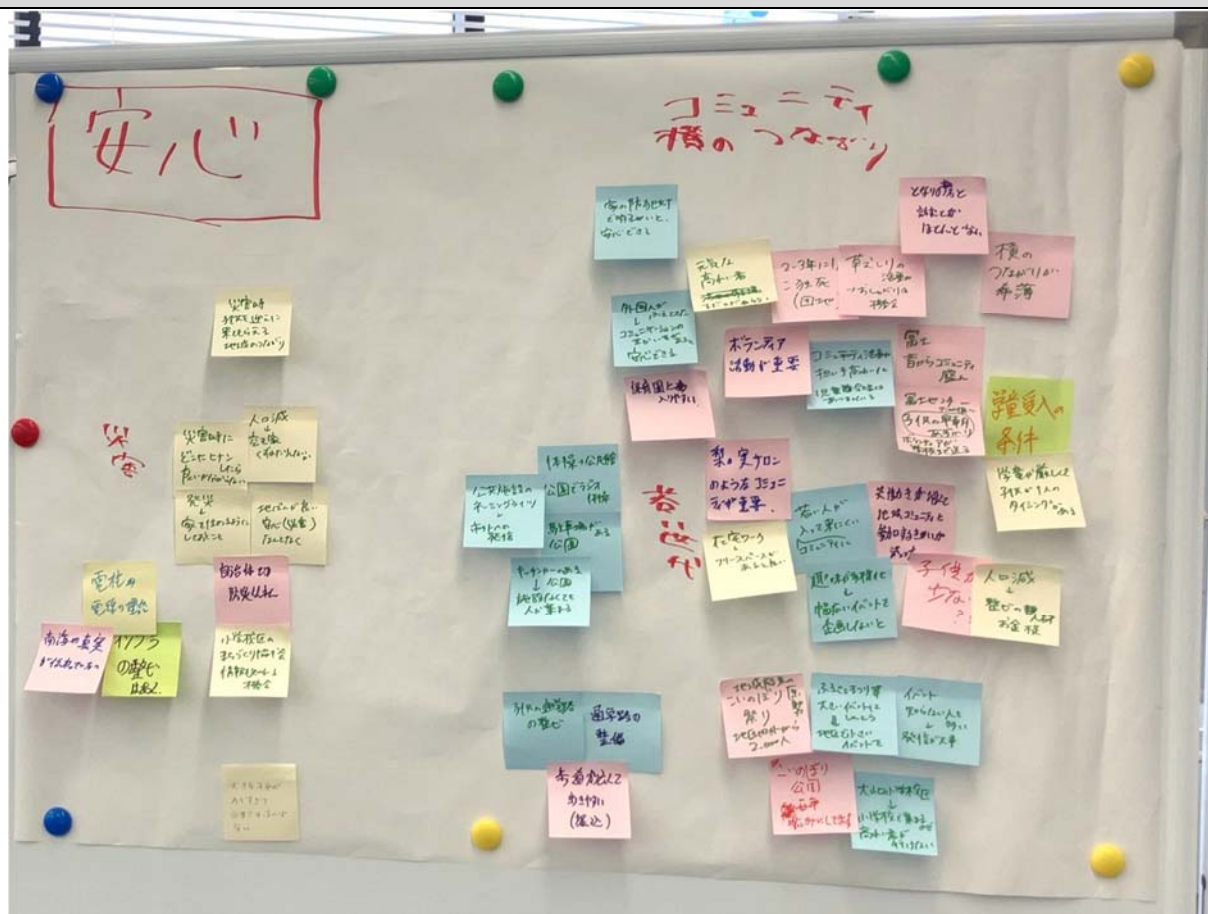
開催概要

第5次総合計画の基本理念である「安心」「健康」「快適」をテーマにして、各テーマごとにテーブルを設け、興味のあるテーマから順にテーブルを回っていくワールドカフェ方式で、意見を交わしました。

対象者	開催日 令和6年（2024年）	開催場所	参加者数
全市民	4月25日（木）	市役所本庁舎	22名
	4月27日（土）	市役所東庁舎	25名

4月25日(木)午前	テーマ「安心」……2 テーマ「健康」……4 テーマ「快適」……6
4月25日(木)午後	テーマ「安心」……9 テーマ「健康」……11 テーマ「快適」……13
4月27日(土)午前	テーマ「安心」……15 テーマ「健康」……18 テーマ「快適1」……21 テーマ「快適2」……24
4月27日(土)午後	テーマ「安心」……26 テーマ「健康」……28 テーマ「快適」……30

テーマ:安心



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【災害】

- ・災害時に子どもを迎えに来てもらえるような地域のつながり
- ・どこに避難したらいいかわからない
- ・発災したら家を住めるようにしておくこと
- ・人口減→空き家が崩れたりしないか不安
- ・地盤が良い、安心、なんとなく
- ・自治体で防災訓練
- ・小学校区まちづくり協議会は情報も知れる機会
- ・大きな不安がありすぎる
- ・電柱の地中化
- ・南海の真実が伝わっていない
- ・インフラの整備・把握

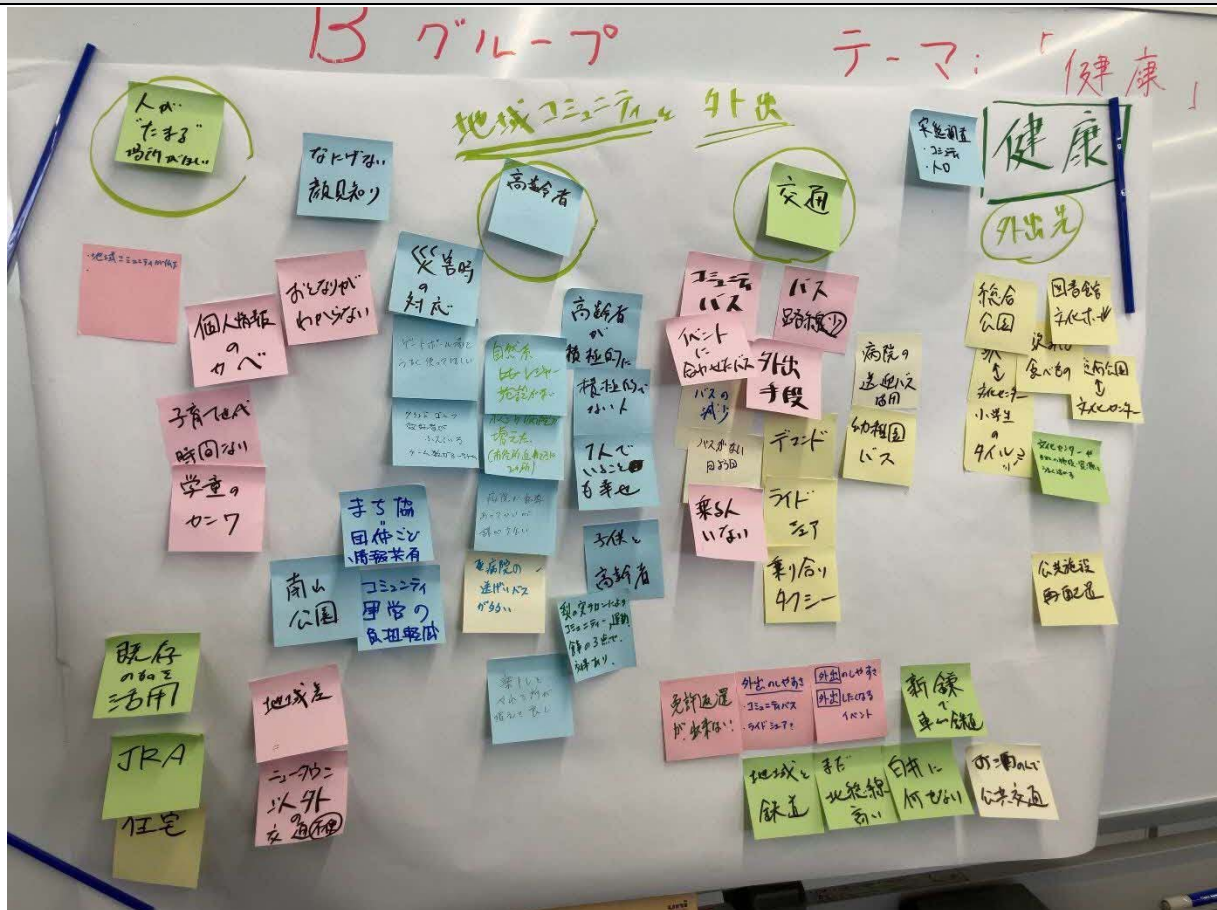
【コミュニティ、横のつながり】

- ・横のつながりが希薄
- ・隣の方と話すことがほとんどない
- ・団地では、2～3年に一度孤独死がある
- ・団地の草むしりの活動→おしゃべりの機会

【若い世代】

- ・富士センターでは朝7時から子供の早朝預かり→ボランティアが学校送迎している
- ・学童受入れの条件が厳しくて、子どもが1人のタイミングがある
- ・保育園に入りやすい
- ・梨のみサロンのようなコミュニティが必要
- ・若い人がコミュニティに入ってくるににくい
- ・共働きが増えて地域コミュニティに参加する機会が減った
- ・趣味が多様化→幅広いイベントを企画しないと
- ・人口減→整備の人材・お金不足
- ・在宅ワーク→フリースペースがあると良い
- ・公民館で体操→公園でラジオ体操
- ・公共施設のネーミングライツ→市外への発信
- ・キッチンカーのある公園→施設なくても人が集まる
- ・駐車場がある公園

・外国人がふえてきた→コミュニケーションの機会があると安心できる ・家の防犯灯で明るいと安心できる ・元気な高齢者→まだまだ現役！ ・コミュニティ活動担い手の高齢化、児童合唱は集まっている ・ボランティア活動が重要 ・富士地区は昔からコミュニティが盛ん	・子どもの通学路の整備 ・通学路の整備 ・歩道が広くて歩きやすい（堀込） ・こいのぼり祭は地区内外から 2,000 人→地域結束の原動力 ・ふるさとまつり等大きなイベントは浸透→地区で小さいイベントを ・イベントを知らない人が多い→発信が大事 ・こいのぼり公園毎年楽しみにしてます ・大山口小学校区→小学校で集まるので高齢者が行けない
主な意見まとめ	
○横のつながり（コミュニティ）が重要 ・横のつながりが希薄化している ・コロナ禍でボランティアの活動が制限され、復活できずにいる ・富士センターでは児童の早朝預かり・学校へ送迎ボランティアを実施している ・若い人がコミュニティに入りにくい ・イベント自体を知らない人が多いため、発信してコミュニティを広げていく ・キッチンカーなどが公園に入れると人が集まる ・子供が安全安心に通学できるよう、通学路の整備やボランティアを実施する ○災害に対する認識 ・白井市は災害に強いイメージ ・発災時の対策について、あらかじめ情報を共有しておくことが重要である ・災害時に子どもを迎えに行けない、地域のつながりがないと子供を預けられない	



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【人が“たまる”場所がほしい】

- ・何気ない人見知り
- ・地域コミュニティが低下
- ・おとなりが分からない
- ・個人情報のかべ
- ・子育て世代は時間がない
- ・学童の緩和
- ・既存のものを活用
- ・JRA
- ・住宅
- ・地域差
- ・ニュータウン以外の交通不便

【高齢者、コミュニティ】

- ・高齢者が積極的に
- ・1人でのいることも幸せ
- ・子供と高齢者
- ・梨の実サロンによりコミュニティ、運動、食事の3点で効果あり
- ・楽トレをやれるところが増えて良い

【交通】

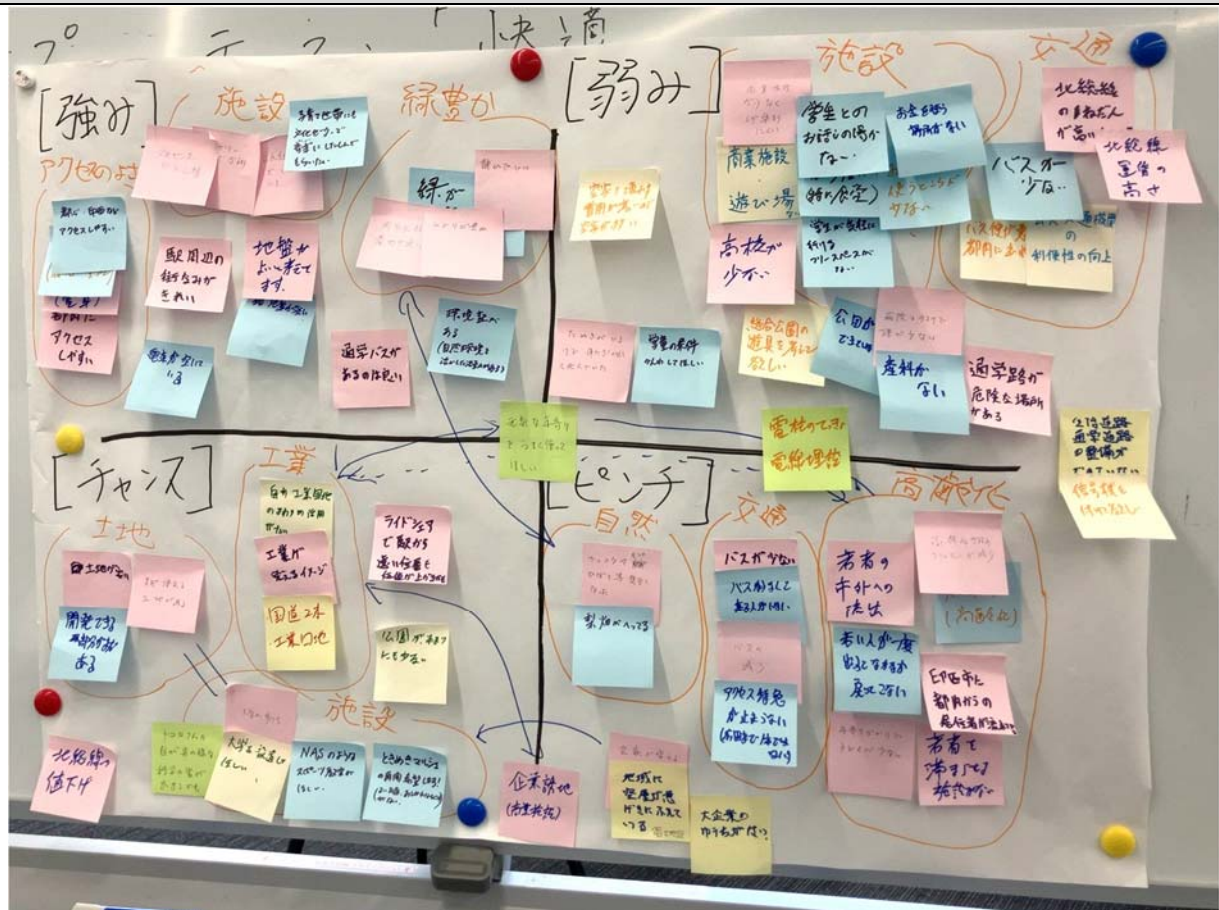
- ・バス路線少ない
- ・イベントに合わせたバス
- ・外出手段
- ・バスの減少
- ・病院の送迎バスの活用
- ・幼稚園バス
- ・日曜日はバスがない、乗る人がいない
- ・外出のしやすさ（デマンド、ライドシェア、乗合タクシー）
- ・外出のしやすさ+外出したくなるイベント
- ・免許返納ができない
- ・新鎌ヶ谷で車⇔鉄道
- ・地域と鉄道
- ・まだ北総線が高い
- ・お酒飲んで公共交通を利用したい

【外出先】

- ・総合公園
- ・図書館、文化ホール

・災害時の対応 ・ゲートボール場をうまく使ってほしい ・グラウンドゴルフ愛好者が増えている ・自然系レジャー施設がない ・病院が結構あっていいが科が少ない ・病院の送迎バスが多い ・総合病院が増えた ・まち協＝団体ごとの情報共有 ・コミュニティ運営の負荷軽減 ・南山公園	・総合公園⇔文化センター ・駅⇔文化センター ・飲みもの、食べ物 ・文化センターや既存の施設・資源をうまく生かす ・小学生のタイルシール ・公共施設再配置
主な意見まとめ	
・人とつながり、楽しく外出することで健康でいられる ○地域コミュニティ ・人がたまる場所がほしい ・まちづくり協議会＝団体ごとの情報共有の場 ・子育て世代は共働きが多いので、コミュニティに参加する時間がない ・1人であることも幸せ ・何気ない顔見知りもつながりの一つ ○外出のしやすさと外出したくなる機会 ・高齢者が積極的に外に出られることが望ましい ・外出時の主な移動手段は自動車だが、高齢化して自動車に乗れなくなると外出機会が減る ・バス路線が減少しており、ライドシェアなどバス以外の移動手段も取り入れていく必要 ・主な外出先としては、総合公園、図書館、文化センターなど ・お酒飲んだりカラオケしたりする場所が欲しい	

テーマ:快適



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

○強み

【アクセスのよさ】

- ・都心・印西などアクセスしやすい
- ・都内にアクセスしやすい

【施設】

- ・文化センターのネーム権
- ・子育て世帯にも文化センターで音楽に親しんでもらいたい

【緑豊か】

- ・静かでいい
- ・みどりが豊か
- ・都市と緑、農地が近い

【その他】

- ・駅周辺の街並みがきれい
- ・電車が空いている
- ・地盤が良いと考えています
- ・地盤が強い
- ・通学バスがあるのは良い
- ・環境塾がある（自然環境を活かした活動がある）

○弱み

【施設】

- ・商業施設が少なく、人が集まりにくい
- ・商業施設・遊び場がない
- ・高校が少ない
- ・学生とのお話の場がない
- ・学生が気軽に行けるフリースペースがない
- ・お金を使う場所がない
- ・お金を使うところが少ない
- ・総合公園の遊具を考えて欲しい
- ・公園ができている
- ・病院はあるけど科が少ない
- ・産科がない
- ・通学路が危険な場所がある

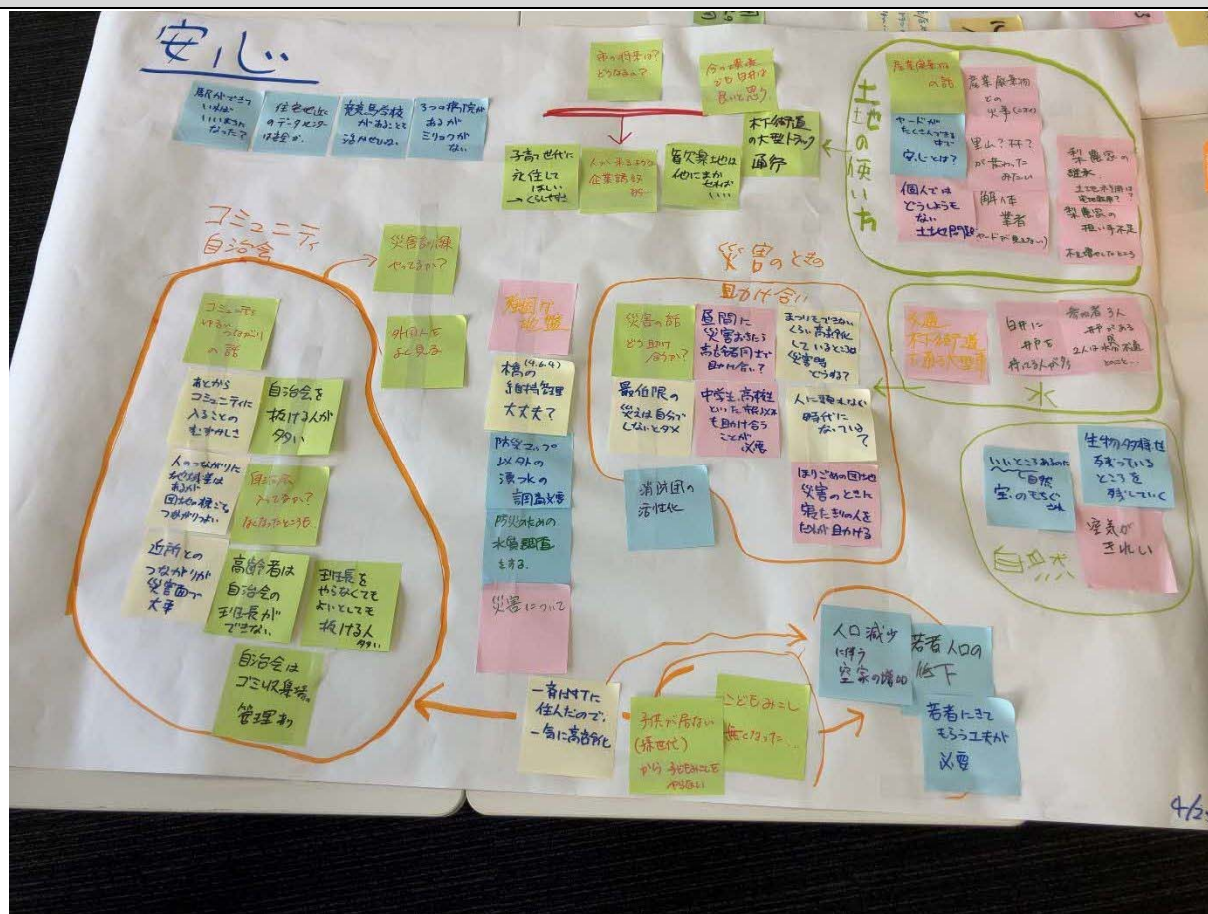
【交通】

- ・北総線の値段が高い
- ・北総線運賃の高さ
- ・バスが少ない
- ・バス便が悪く都内に出れない

○チャンス 【土地】 ・土地が安い ・まだ使える土地がある ・開発できる部分がある 【施設】 ・大学の誘致 ・大学を設置して欲しい ・所さんの目が点の様な科学の里ができるかも ・NASのようなスポーツ教室が欲しい ・ときめきマルシェの再開希望します！（良いお店、おしゃれな店がない） 【工業】 ・白井工業団地のまわりの活用がない ・工業が栄えるイメージ ・国道2本 ・工業団地 【その他】 ・ライドシェアで駅から遠い住居も価値が上がるかも ・公園があまりにも少ない ・企業誘致（商業施設） ・北総線の値下げ	・公共交通機関の利便性の向上 【その他】 ・たぬきがいるけど、車にひかれて死んでいた ・学童の条件緩和してほしい ・電柱の撤去、電線埋設 ・生活道路、通学道路の整備ができていない ・信号機を付けて欲しい ○ピンチ 【自然】 ・カッコウやキジ、ひばり等、見なくなった ・梨畑が減ってる 【交通】 ・バスが少ない ・バスが少なくて乗る人がいない ・バスの減少 ・アクセス特急が止まらない（成田まで1本ではない） 【高齢化】 ・高齢化が進みコミュニティが減少 ・若者の市外への流出 ・若い人が一度出るとなかなか戻ってこない ・印西市に都内からの居住者が流れている ・若者を留まらせる施設がない ・年寄りばかりでこどもが少ない 【その他】 ・空き家が増える ・地域に空き家が急激に増えている（冨田地区） ・大企業の誘致がない
主な意見まとめ	
○アクセス性 ・都心や印西、成田にアクセスしやすい ・通学バスがあるのは良い ・バス本数の少なさや北総線の運賃が高く、公共交通を使いづらい ・ライドシェアなどが普及すれば、駅から遠い住居もアクセス性が高まる ○高齢化、若い世代の市外への流出 ・学童の条件を緩和してほしい ・商業施設が少なく人が集まりにくい ・学生や若い世代が溜まるような空間、施設がない	

- ・若い世代との交流の場、機会がない
 - ・高齢者が増加→まだ働ける高齢者の雇用→チャンスになり得る
- 土地、自然
- ・緑豊か
 - ・静かで暮らしやすい
 - ・梨畑などが減少している
 - ・白井工業団地の周りの活用がなく、開発できる余地がある

テーマ:安心



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【コミュニティ・自治会】

- ・コミュニティ、ゆるいつながりの話
- ・あとからコミュニティに入ることの難しさ
- ・自治会を抜ける人が多い
- ・人のつながりに地域差はあるが、団地の棟ごとのつながりが強い
- ・自治会入ってるか？なくなったところも
- ・高齢者は自治会の班長ができない
- ・班長をやらなくても良いとしても抜ける人多い
- ・自治会はゴミ収集場の管理あり

【災害の時の助け合い】

- ・災害の話 どう助け合うか？
- ・最低限の蓄えは自分でしないとダメ
- ・昼間に災害おきたら高齢者同士で助け合い？
- ・中学生、高校生といった市民以外も助け合うことが必要
- ・祭りもできないくらい高齢化しているところは災害時どうなる？

【水】

- ・交通、木下街道を通る大型車
- ・白井に井戸を持っている人が多い
- ・参加者 3 人井戸がある、2 人は水成分が不適とのこと

【自然】

- ・いいところ（自然）あるのに宝の持ち腐れ
- ・生物多様性残っているところを残していく
- ・空気がきれい

【その他】

- ・駅ができていればいいまちになった？
- ・住宅地近くのデータセンターは安全か
- ・競馬学校があることを活かしていない
- ・市の将来はどうなるの？
- ・子育て世代に永住して欲しい→くらしやすさ
- ・人が来るような企業誘致なら・・・
- ・歓楽地は他に任せればいい
- ・今の環境でも白井は良いと思う

・人に頼れない時代になっている？ ・堀込団地災害のときに寝たきりの人だけが助ける ・消防団の活性化 【土地の使い方】 ・産業廃棄物の話 ・ヤードがたくさんできる中で安心とは？ ・個人ではどうしようもない土地問題 ・産業廃棄物での火事（ニオイ） ・里山？林？が変わったみたい ・解体業者（ヤードが見えない） ・梨農家の継承 ・土地利用は？宅地転用？ ・梨農家の担い手不足 ・木を増やしたところ	・木下街道の大型トラック通行 ・災害訓練やってるか？ ・外国人をよく見る ・強固な地盤 ・(4.6.4) 橋の維持管理大丈夫？ ・防災マップ以外の湧水の調査必要 ・防災のための水質調査をする ・災害について ・一斉に NT に住んだので一気に高齢化 ・子供が居ない（孫世代）から子ども神輿をやらない ・こども神輿無くなった ・人口減少に伴う空き家の増加 ・若者人口の低下 ・若者に来てもらう工夫が必要
主な意見まとめ	
○土地の使い方 ・産廃処理場が増えている ・3つの病院があるが魅力がない ・産業誘致、データセンターは人が集まらない ・生物多様性、空気がきれいなど良いところを残し、活かしていく ◇災害時 ・災害時、市民が助け合うことが必要 ・寝たきりの人をどう助けるのか ・井戸水はあるが、飲用には向かない ◇コミュニティ ・班長など役割がなくても自治会を脱退する人が多い ・災害時には近所のつながりが大事、自治会に入らない人は防災訓練に参加できているのか ・外国人をよく見かける ・あとからコミュニティに入ることの難しさ ・ゆるいつながりも大切 ・ニュータウンで同時に入居しており、一斉に高齢化する ・子育て世代に永住してほしい	

テーマ:健康



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【健康の活動】

- ・ 谷田
- ・ 自然の中できもちよく汗を流す
- ・ 豊かな自然の中を歩く
- ・ 誰でも入れるように？
- ・ 役所のジム
- ・ ウォーキングコース
- ・ 健康マーシャン
- ・ 頭も使う、指も使う、男女問わずできる
- ・ 社協の（体操、囲碁、ゴルフ）活動
- ・ 活動はあるけど知られているかどうか
- ・ コーラス、ボランティア
- ・ 梨マラソン
- ・ タケノコ堀り大会
- ・ 田んぼの学校（ヒラツカ）
- ・ 休耕地を活用した農業活動で体を動かす
- ・ 移動するのが大変な人もいる・・・
- ・ 病院に魅力ない、先生が常勤でない
- ・ 信頼できる病院

【人とのつながり】

- ・ 孤独死
- ・ 個人情報の壁が大きすぎる
- ・ 寄り道できるといいな・・・
- ・ どこまでおせっかいできるか・・・見ててくれれば安心
- ・ ベンチでしゃべる高校生はいるけれど・・・
- ・ 喫茶店やレストランが少ない・・・
- ・ 心の健康
- ・ お酒の場で他の人と話す健康
- ・ 地域の活性化つながり

【人が集まる仕組み】

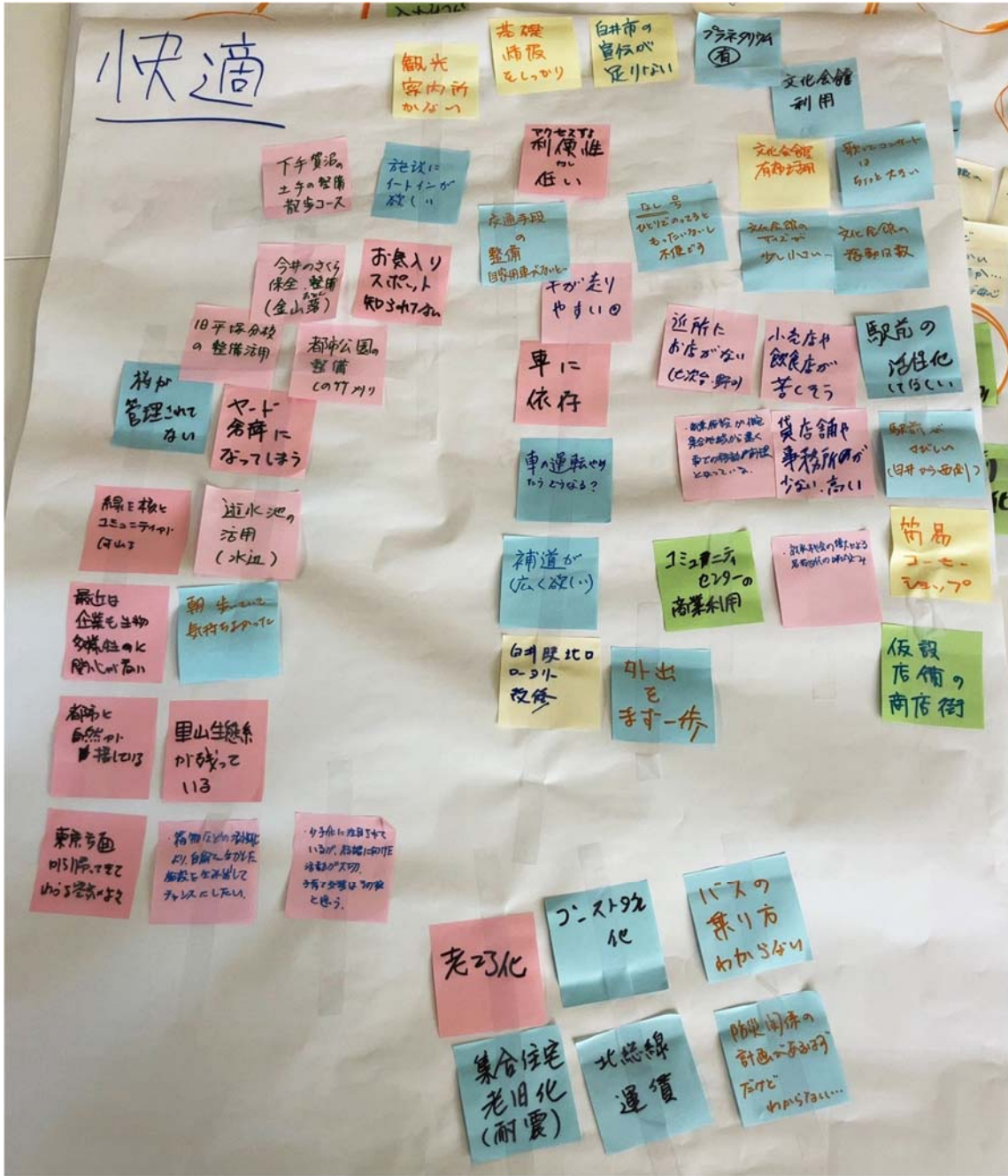
- ・ 交通
- ・ 駅前活性化
- ・ 福祉センターの一階
- ・ 未利用スペースの有効活用
- ・ 楽しくお食事

【若い世代の魅力】

- ・ 市内に職がない

・かかりつけ医 ・脳ドック情報が最新でない 【笑顔で会話】 ・顔見知り ・たまれる場所	・大学、高校 ・こういう場所があるよ、という情報発信 ・情報発信 【その他】 ・レンゲ ・産廃 ・工場などのニオイ
主な意見まとめ	
○健康につながる活動 ・田んぼの学校や、休耕地を活用した活動がある ・市役所のジム、ウォーキングコース、梨マラソン、社協の活動がある ・健康マージャンは、頭も指も使うし男女問わずできる ・こうした活動はあるが、市民に知られているか ○笑顔で会話する（心の健康） ・人とのつながりで見守っていることで、孤独死とかも解決できるのでは ・人が集まれる場所が大事だが、白井にあまりない ・人が集まれる場所を発掘して、発信することで若い人が来ることにもつながるのではないか	

テーマ:快適



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

- ・観光案内がない
- ・基礎情報をしっかり
- ・白井市の宣伝が足りない
- ・下手賀沼の土手の整備散歩コース
- ・施設にイートインが欲しい
- ・今井のさくら保全・整備（金山落）
- ・お気に入りスポット知られていない
- ・旧平塚分校の整備活用
- ・都市公園の整備、しの竹刈り
- ・桜が管理されてない
- ・アクセスする利便性が低い
- ・なし号一人で乗ってるともったいないし不便です
- ・交通手段の整備、自家用車がないと・・・
- ・車が走りやすい
- ・車に依存
- ・車の運転やめたらどうなる？
- ・歩道が（広く欲しい）
- ・白井駅北口ロータリー改修
- ・外出をまず一步

・ヤード倉庫になってしまう ・線を核にコミュニティが作れる ・遊水地の活用（水辺） ・最近企業も生物多様性に関心が高い ・朝歩いていて気持ち良かった ・都市と自然が接している ・里山生態系が残っている ・東京方面から帰ってきてわかる空気の良さ ・箱ものなどの活性化より、自然を活かした施設を生み出してチャンスにしたい ・少子化に注目されているが、結婚に向けた活動が大切、子育て支援はその後と思う ・老朽化 ・ゴーストタウン化 ・バスの乗り方わからない ・集合住宅老朽化（耐震） ・北総線運賃 ・防災関係の計画があるはずだけどわからない	・プラネタリム有 ・文化会館利用 ・文化会館有効活用 ・歌ってコンサートはちょっと大きい ・文化会館の稼働回数 ・文化会館のサイズが少し小さい ・駅前の活性化してほしい ・小売店や飲食店が苦しそう ・近所にお店がない（七次台、野口） ・商業施設が住宅集合地域から遠く、車での移動が前提となっている ・貸店舗や事務所が少ない、高い ・駅前がさびしい（白井から西側） ・コミュニティセンターの商業利用 ・就職機会の増大による若者世代の呼び込み ・簡易コーヒーショップ ・仮設店舗の商店街
主な意見まとめ	
○環境 ・平塚、今井の桜など快適な白井の自然環境を残せるのか不安 ・自然環境を守るためには魅力を伝えていかないといけない ・生物多様性は今後の企業誘致のキーワードになっていく、発展の中で欠かせない ・きちんと維持・管理・保全しないとせっかくの自然環境がなくなってしまうことが不利益になる ○地域活性化（文化・商業） ・文化センターを商業利用するなど有効活用できたら良い ・駅前がさびしい ・商業施設が住居地域から遠く、車移動が前提となっている ・貸店舗や貸事務所が少ない、貸店舗が高く出店リスクが大きいため駅前の小売店が厳しい印象	

テーマ:安心



ワークショップで挙がった意見(模造紙の内容)

【隠れた資産】

- ・競馬学校は日本でここだけ！
- ・競馬学校と交流できたらよいのでは？
- ・自然薯も産品だけどあまり食べない
- ・なし坊が知名度低い・・・じねんじゃーはくせになる
- ・工業団地があるけどかがが
- ・白井工業団地のアピール（人を誘致）
- ・市内全小中学校で工業団地見学やってほしい！
- ・子ども減って空いた教室を民間企業に貸し出しては
- ・社協が学校内にある
- ・スクールバスが通った事
- ・交通の便を考えてほしい
- ・デマンドタクシーを増やした方がいいのでは？
- ・クルマを運転できなくなったら生活が大変
- ・駅まで行くのが不便
- ・通勤時間のバスがない
- ・バスが遠回りするから不便
- ・病院の無料バスは車イスが乗れない
- ・駅が暗い
- ・学校まで歩道の広い道を歩いていける
- ・ベルクの送迎センターはとてもいい、駅にほしい

【人いないから安心】

- ・治安はいい、静かで安心
- ・安心だけドクドクして発展していけるように
- ・祭りがある地域はあまりない？愛着わきづらい？
- ・人がいても安心なまちを目指す

【その他】

- ・駅前が便利、離れた方がみどりは多い
- ・住みやすさは白井のポイント
- ・子供を預けられるところが増えている
- ・うるおいながら発展
- ・お祭り？イベント？盛り上がるものが必要？
- ・外から人を呼びこんで活気が必要
- ・周囲から来たいと思えるものが市内にない
- ・空地、畑があるから災害の時はテントを張れる
- ・大学誘致で学校同士のつながりをつくる
- ・学校同士のつながりが薄い
- ・大学を呼び込む産官学の融合
- ・白井を街づくりの研究都市に
- ・子ども、学生を対象にしたり、参加できるイベントがない
- ・白井がまちづくり研究で日本をひっぱり
- ・若い人、子育て世代を呼び込む学校づくり、中高一貫校
- ・今あるものを探して発信していく
- ・まちなかに若いパワーが入るように
- ・隠れた資産、産業（自然薯）
- ・グローバルを意識したコミュニケーション
- ・帰ってきた感じがする（会社帰り）
- ・帰りたく（戻りたく）なるマチ！
- ・マルエツの上をなんとかできないか？
- ・パパ同士のつながりが強い
- ・駅から 15 分になんでもある
- ・昔はなににもなかった、高校生が楽しむところがあった
- ・LED 照明
- ・将来目線の住みやすさ
- ・車イス用の介護タクシーが高い！
- ・免許の返納しづらい→（将来の）事故につながる？

- ・最近遊具が新しくなって助かる
- ・登校時の見守り、よくしていただいている
- ・交通費が高くて家庭教師が来てもらいづらい
- ・クルマを運転できなくなったときに交通費高いのがネック
- ・知られていないのをこれから強みにしたい
- ・小中高が同じ市内にあるのは子育てによい
- ・近くの空き家、廃法人、治安が悪い
- ・PTA 参加率半分、町内会加盟なし、どう地域とのつながりをつくるのか
- ・駅前再開発されないか？
- ・子育ても歳取っても白井に住みたいと思えるように
- ・「白井に住みたい！」と思えるまちになったらラッキー！
- ・駅前の家賃が高くて飲食店が入らない
- ・地盤
- ・たくさんあるセンターをコミュニティ拠点に
- ・子育てによい
- ・子育て世代がしっかりしているイメージ
- ・家買う、子育てするときに帰ってこれるまちは安心
- ・北総線が止まったら帰れない
- ・自治会毎に避難訓練をすすめてほしい
- ・犯罪が少ない気がする
- ・白井から通勤できるのに出て行ってしまう
- ・文化的行事もあるのでもっと PR を
- ・工業、商業、文化、街づくりを研究する場（大学）
- ・いろんな人の力を合わせて子供を育てる
- ・外国人とかで活気あふれても安心な街に
- ・人がいなければ安心なのはあたりまえ
- ・自然災害が少ない、地震
- ・水があふれるところがない
- ・市内に拠点がいくつかあるけど、どれもさびしい
- ・駅前にさびれている
- ・駅前なのに暗い
- ・住宅街が暗い

主な意見まとめ
・人が少なく、歓楽街・パチンコ屋がない、寄り道するところがないから静かで治安が良い ・子供を預けられるとことも増え、登校時の見守りもよくしてもらっていて子育て世代にとってはとても安心できる街 ・安心な一方で、寄り道できないゆえに若者が出て行ってしまう ・白井高校に通った子が「いい街だった」と感じてもらえれば、戻ってきてくれるかも ・今あるものを活用して、メリットをうまく PR すればいいのではないか ・白井第2小は社会科見学で工業団地に行く→子供を玄関口にして親世代へのPRも考えられる

テーマ:健康



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【健康でいるための活動】

- ・やりたい人
- ・リタイアした人たち
- ・必要とされたい
- ・子どもに迷惑かけたくない
- ・話せる場所
- ・小中学校体操クラブ
- ・見守り、イベント主催、PTAと一緒に
- ・学校までの交通
- ・駐車場、バス
- ・子育て参加
- ・シルバー人材 PTA のセンター委託
- ・世代間コミュニケーション

【その他】

- ・市としての健康
- ・人口を維持するには
- ・外国人
- ・老朽化した団地
- ・新しい住人とのコミュニケーション
- ・戸建て住宅
- ・他地域と比べては健康としても絶対的には大丈夫か？
- ・後期高齢者で一人住まいの不安
- ・移動健診車
- ・高齢者意識付け
- ・健康診断

・老人の引きこもり→子育てに参加 【市内の資源】 ・水道水 ・農業も身体にいい ・コミュニケーション ・草むしり 【技術、提案】 ・看護人材の確保 ・医療系大学の誘致 ・白井が日本をけん引できるような研究をする ・GXの実証実験を市全体で行う ・無人運転の実証実験を行う ・企業の呼び込み ・今、健康分野のDXは注目領域 ・食いつく企業もあるはず ・リスクリング 【アクセス】 ・免許がなくなるかも ・健康のうちは良いのだが移動に困難 ・高齢者ひきこもりは大丈夫？ ・車がないと動けない ・コミュバス乗ったことない ・バス停の場所 ・あぶない、暑い、寒い ・循環バス使いにくい ・ライドシェア	・本屋がない ・市の中心とは？ ・印西に住んでしまう ・子ども0 ・マルエツ2階 ・駅前広場活用 ・買い物、東京、印西、柏 ・白井に“ないもの”が多い ・スポーツ施設 ・体育施設が少ない ・さわやかプラザ軽井沢 ・印西温水センター ・神々廻老人施設 ・福祉センター ・鎌ヶ谷と印西との違い ・知られてほしい！ ・住む場所 ・寄り道できない ・病院 ・治安 ・安全な遊歩道 ・自転車と徒歩 ・ウォーキングできる道が多い（途中のベンチ良い） ・川沿い ・二重川 ・車イスもベビーカー ・ボコボコある ・市役所休日開庁（月イチでも）
主な意見まとめ	
○個人の健康 ・後期高齢者が多い ・ひとり暮らしの高齢者も多い→移動健康診断車とかを活用して健康を保てないか ○市の健康 ・免許がないと移動しづらい、クルマがないと動けない→ライドシェアとかを活かす ・いろいろな資源がある→自然、農業とかはあるが、本屋がない、文化面が弱い？ ・自然はあるが寄り道するところがないことは、健康的な生活といえるか？ ・凸凹な道路が多く、車いすやベビーカーで動きづらいところもある ・スポーツ施設など周りの地域の資源を使って維持しているものが多い。作らなくてもよいがアクセスしやすくしたほうがよい	

- ・工業団地は人を呼び込む魅力
- ・まちづくり大学とか。特色ある大学。リスキリングできる大学を誘致できないか
- ・インバウンドで住民とのコミュニケーションを取れるようにする
- ・高齢者だけで過ごすのではなく、若い人や外国人も含めたコミュニティを形成する

テーマ:快適1



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【みどり豊かなまち】

- ・みどり、散歩、きもちがいい
- ・自然にふれる
- ・白井の住環境は豊かに感じられる、ワーケーションやテレワークなら不便はない
- ・市役所のまわりが桜
- ・治安がいい、静か
- ・公園が暗くて怖いから変わって欲しい
- ・安全
- ・船橋だと雑踏、白井だと鳥の声がきこえる
- ・ほどよく田舎

【公共施設が充実】

- ・人口の割に本の充実度がとてもすばらしい
- ・文化センターは良く愛用している
- ・高齢者にとっては、大活字の本を置いてくれて

- ・小、中、高校生の時代に、白井市で良い思い出、楽しい思い出がないから出ていってしまうのかも
- ・公園、カフェがあるといいな
- ・総合公園は小さい子向け
- ・大人も楽しめる公園
- ・キッチンカー、行ったらあるわけじゃない
- ・動線がないから盛り上がりにかける
- ・駅前がおしゃれではない、暗い
- ・ショッピングモール、商店街ない
- ・20代転出が多い
- ・白井か印西かと言われると印西を選んでしまう
- ・人口増加が必要？
- ・暗いからかもしれないが、みんな疲れているように見えてしまう

いるのはありがたい

- ・児童館が近くに配置されていて便利、しかし、小学生を連れていけない

【意外と都心へのアクセスが便利】

- ・都心に直通する北総線は、意外と便利で楽
- ・新幹線にも1回乗換で乗れちゃう
- ・学生定期が安くなった
- ・北総鉄道が地域に好意的（一生懸命）
- ・学生定期が安くなった

【安心して住めるまち】

- ・過度に発展していない所が良い所
- ・暗いけど「帰ってきた感」を感じる面もある
- ・休みの日は印西には人が集まる、白井は人が出て行ってしまう、そういう役割

【コミュニティがあるまち】

- ・小規模のまちのつながりがある
- ・高校の授業でイベント
- ・イベント、夏祭り、キッチンカー
- ・軒先市、西白井駅前
- ・災害のときつながりがない
- ・コミュニケーションが弱い
- ・子どもが育ったあとにつながりがない

【意外と住むにも便利なまち】

- ・クルマで15～20分走れば、何でもそろっているので住むには便利
- ・買い物できる店舗は少し先に行けばある、店舗がないから治安が良いと考えてもいいのでは
- ・静かなまちでも車で少し行けばいろいろ揃うまち
- ・隣接する市が栄えている

【災害が少ないまち】

- ・山がなく川がないので災害が起こりにくい
- ・地盤が固いので安心、売りになる
- ・水害、津波がない
- ・戸建ての安心感

【人々が過ごせる場所が少ない】

- ・高校生のときには、何もない町なのが嫌だった、高校生が居られる場所があると良い
- ・買い物、商業施設が少ない
- ・本を買うために鎌ヶ谷まで行かないといけない

【白井の良さについての情報発信が弱い】

- ・小中一貫校を設置して特色ある教育をしては
- ・住みやすいまちであることをアピール
- ・まわりの市の人口政策は見えやすいが、白井市がどうしていくのかが見えない
- ・市及び支庁の発信力を強化すべき
- ・白井市の住みやすさの発信が弱い
- ・白井の広告、都内に発信！
- ・ブランディング→SNS、TV活用、話題づくり
- ・〇〇市のとなり、ではなく〇〇の白井、という発信

【公共交通が弱い】

- ・学生、お年寄り、公共交通がないとツライ
 - ・車いすの方、お年寄りが歩いていけるところがない
 - ・公共交通のあり方をいろいろ模索
 - ・北総線の間隔が長い
 - ・車がないとスーパーにいけない
 - ・駅のそばに停車できる場所があると移動が便利になる
 - ・自分が行きたいところに行きたい
 - ・行きたい所に行けるようにすることが快適さに重要
 - ・車が運転できないと行きたい所に行けない
 - ・公共交通が不便
 - ・なっしー号を活かすという以外の選択肢を試していくべき
 - ・駅から遠い所に住む人は交通が不便
 - ・イベントをやろうとしているのに公共交通が弱い
 - ・まず交通、交通＝経済循環
 - ・近年進展している市はアクセス特急が止まる駅がある
 - ・バスは朝ピークに走ってない
 - ・北総線が使いつらい
- 【アイディア①】
- ・歩いて通うには遠い所にスクールバスが通るようになったのはいいこと
 - ・他の人も活用できるように
 - ・スクールバスなどモビリティの有効活用

- ・駅前にマクドナルドといったファストフードがあると便利

主な意見まとめ

○白井の特色

- ・緑豊かで治安が良く、公共施設も充実していて住んでみると快適
- ・印西の商業施設に行くには車が必要で、交通面は不便
- ・コミュニティがあるのだから、発展させていく人が集まれる場所があるといい（今はない）
- ・地盤も強く災害に強い住みやすい

○白井の良さを PR

- ・イベントを積極的に行って、インパクトのある情報発信で白井の良さを伝える
- ・広範囲にいろんな人に知ってもらえるようにする
- ・流山のような SNS を活用した情報発信、一風変わった演出で目に留まるような広告が必要
- ・住みたいと思われるように、白井の住みやすさをブランディング



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

【自然】

- ・都会に比べると静か、緑が残っている
- ・原生林があった
- ・緑多い＝リフレッシュ
- ・施設の木
- ・白井の自然を生かした何かがあれば良い
- ・観桜資源が少ない？気づいてない？
- ・なんとなく快適
- ・なんとなくを伝えづらい
- ・コンセプトがはっきりとしてない→協力できてない？
- ・市民にとっては大切な梨畑が減っている問題
- ・絶対的には日本沈んでいるので、ベースアップ

【生活】

- ・幼稚園が充実
- ・保育園は？
- ・パパ同士のつながり強い
- ・地域のサークルが多い→若い人のサークルどのくらいあるか分からない
- ・子育て＝土の上で
- ・子育て支援も途々に良くなっていると思う
- ・良くなっているけど、先んじた施策は少ない？
- ・子どもを預けるところが増えてきた
- ・案外、子育てしやすい
- ・人口密度が低い

・をしたい ・場所か交通か ・にわとりかたまごか ・名産梨の農業を減らさないように ・近くにある ・インバウンド外国人にお金を落としてもらう ・移動は楽な方 【公共系】 ・堀込団地のリノベーション駅に近いので若い人を取り込める ・成田空港に近い ・電車（運賃は高いけど） ・交通費が高い、道路整備されていない所がある ・テレワークには良いです ・乗り物フリーパス ・子どもの送迎をしなくても良くなる ・ほどよい田舎＝東京に出やすい ・実は交通の便がいい ・道路が広い ・どこにでも出やすい ・海にも山にも行ける ・道が広い！車でも徒歩でも ・自転車で安全に走れるサイクリングコース ・でも、完結しない	・子育てしやすい ・印西に行きやすい ・商業施設とかではなくそのままを生かしたもの ・田舎と都市生活の中間点ですみやすい ・商業施設がないことも良い面あり ・大型店でなくてもせめて本屋さんがほしい ・駅の梨の泉やってほしい（子供が常にいる） ・駅前にスペースがほしい（ダサイ！） ・動線が悪い駅前 ・店に寄るように ・みんなが集まる公園に遊具が沢山ほしい ・子どもを連れて行きたいところがほしい（公園以外） ・公園のシーソーが少ない、もっと欲しい！ ・隠れ家的なもの ・知る人ぞ知る魅力 ・ワクワクほしい ・イベントする環境 ・ワクワクの新陳代謝 ・場ない ・中の人にとって居心地の良い ・何気ないコミュニティスペースない
主な意見まとめ	
○自然 ・自然豊かで程よい田舎 ・観光資源はあるけど少ない、PRできていない ・梨畑があるからみどりを実感できる。最近は減ってきているが、持続的な農を支援していくことが重要である ○公共 ・交通は乗ってしまえば便利だが、ただ乗るまでが不便 ・テレワークには適しており、PRすれば人を呼び込める ○生活 ・大きな商業施設がないから治安が良いまち。一方で、ないから若い世代が出ていく。 ・幼稚園が充実し、お父さんのコミュニティもある。生活面では住みやすい。 ・自然、公共、生活を連携して「商業施設はないけど住みやすく快適なまち」としてPR	

テーマ:安心



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【立ち寄れるまち】

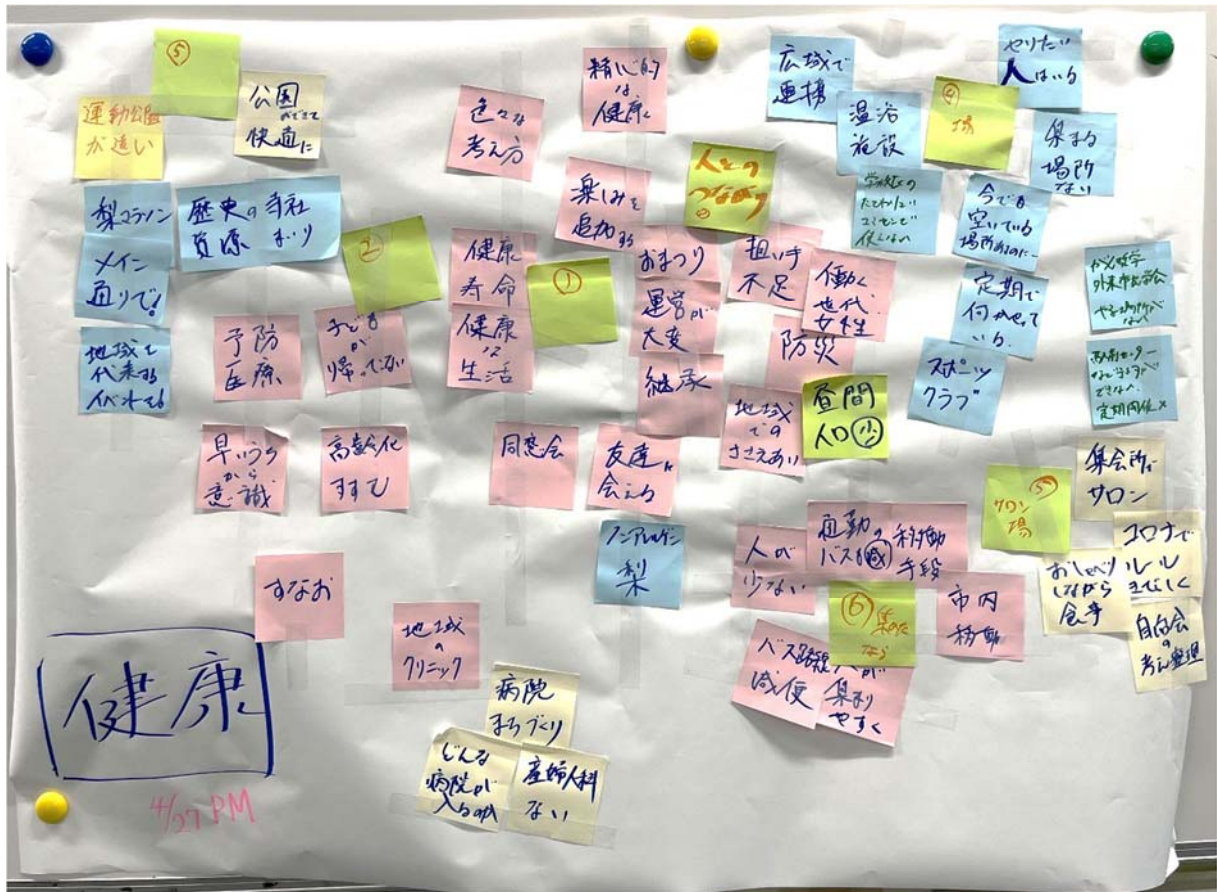
- ・周りの都市化の恩恵を受けて平穏に
- ・ひとつくらいは面白いところがほしい
- ・白井のいいところを見つけ出して拠点にする
- ・街灯の少ない道
- ・ちゃんとした企業に勤めている人が多い
- ・細かいところで行き届いていないところがある
- ・北に住んでいると駅の南に行く用事がない
- ・買い物は北側で簡潔
- ・役員になれないから自治会をやめてしまう
- ・災害のときに誰が誰を助けるのか？
- ・独居、自治会でフォロー
- ・隣近所で見守り合う関係
- ・全体的に安心感があるまち
- ・電車の本数が少ない

【人とのつながり】

- ・コミュニティのふんわり感
- ・若い人は忙しくてコミュニティ活動しづらい
- ・コロナになってサロンとかができなくなった
- ・自分たちで資金調達してサロンをやっていた
- ・飲食禁止
- ・集まる場所がない
- ・立ち止まれる場所がない
- ・楽しいところがない？！
- ・高齢化して知らない人がつながるお祭りができなくなっている
- ・新しく入ってきた人とのつながりはあまりない
- ・トラブルになる前にちゃんとあいさつを！→人のつながりが必要
- ・若い人が将来なにをしたいのかということがつな

・自転車のカゴに貴重品を入れていても取られない ・カギをかけなくても特に大丈夫 ・事故状況 ・警察機能が弱い→市内に相談できるところない 【便利さ】 ・駅周辺は歩道も広い、運転しやすい ・富士は道路も狭い、Y字路もある ・在来地区は道も狭い、子どもがたくさん ・車中心なのに車に不親切→止める場所が無い ・昔は無料だった駐車場が今は優良 ・免許返納したあとの移動は？ ・在来地区は自転車だと危険 ・みんながつながるために交通は重要 ・移動はIT活用で解決 ・変な運転する人がいないのは安心 ・白井に来たいというミリオク、おまけじゃなくて ・白井の知名度はいまくらいがちょうどよい？あいきょう ・白井はアピールが下手？ ・白鳥がくるから有名ならしい	・退職した人の活動の場づくりでかかわり？ ・まちサポで市民団体とのかかわり ・七次台はシルバー人材、保護者が子どもの通学を見守り ・空テナントを市民が使えるように借り上げては？ ・昔は市役所の食堂がお母さんたちの集まる場所 ・市民みんなでこどもの見守り ・若い人はどういう風に入って行ったらいいかわからない ・接点がない ・どこに行ったら教えてもらえるか？ ・〇さん、誰に聞いたら分かるのが安心 ・外国人が言葉を覚えようと思うような環境 ・大運動会などでつながりがあった ・声をかけるきっかけになるイベント ・外国人労働者を警戒していたが、いい青年たちだからイベントにも来てくれる ・工業団地にも増加する今後に重要
主な意見まとめ	
○防犯、災害 ・防犯、災害で話が始まったが、指摘は少なかったなので、安心して住める街だと思う ○人とのつながり ・人との集まる場所がない、楽しい場所がない、フラッと寄れる場所がない ・車中心なのに（無料の）駐車場がなく、腰を据えてお茶を飲む場所もない ・立ち寄る場所が多いまちであることが重要 ・自分達で資金調達してサロンを開催していたが、コロナ以降できていない ・若い人は忙しくてコミュニティ活動しづらい ・白井の魅力ある場所を見つけていくことが大事	

テーマ:健康



ワークショップで挙がった意見（模造紙の内容）

【①】

- ・健康寿命
- ・健康な生活
- 【人とのつながり】
- ・精神的な健康
- ・色々な考え方
- ・楽しみを追加する
- ・おまつり
- ・運営が大変
- ・継承
- ・友達に会える
- ・担い手不足
- ・働く世代、女性
- ・防災、地域での支え合い
- ・昼間人口少

【②】

- ・子どもがかえってこない
- ・予防医療
- ・早いうちから意識

【④場】

- ・広域で連携
- ・温浴施設
- ・学区の縦割りでコミセンが使えない
- ・やりたい人はいる
- ・集まる場所ない
- ・今でも空いている場所あるのに・・・
- ・定期で何かやっている
- ・スポーツクラブ
- ・がん哲学外来市民学会やる場所がない
- ・駅前センターなど予約ができない、定期開催×

【⑤サロン場】

- ・集会所がサロン
- ・コロナでルール厳しく
- ・おしゃべりしながら食事
- ・自治会の考え整理

【⑥集めたなら】

- ・人が少ない
- ・通勤のバスも減

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化進む ・すなお ・地域のクリニック ・病院まちづくり ・どんな病院が入るのか ・産婦人科ない ・ノンアレルギー梨 | <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段 ・市内移動 ・バス路線減便 ・人が集まりやすく |
|--|--|

【③】

- ・運動公園が遠い
- ・公園ができて快適に
- ・梨マラソンメイン通りで！
- ・歴史の資源
- ・寺社詣り
- ・地域を代表するイベントを！

主な意見まとめ

○健康寿命、健康的な生活

- ・予防医療、高齢化への対応として、人とのつながり、心の健康が大事
- ・つながりの「場」が重要であり、やりたい人がいても場所がないとか、場所はあるけど使える場所がない
- ・集会所や運動公園は人との接点になっていたが、コロナ以降利用しにくい
- ・市の病院の数は多いが、移動手段がないと来ることができない
- ・健康において、外とのつながりが一番コスパが良い



ワークショップで挙げた意見（模造紙の内容）

- ・住宅価格が手ごろ、都内や他と比べて安い
- ・みどり豊かな住宅地
- ・人があまり多くない
- ・空気がきれいで心地よい
- ・市役所から続く並木、文化センターの周辺
- ・車がなければ生活できないまちだが、車に優しいわけではない
- ・各世代の交流が大事
- ・人のつながりを作るためのイベント等があるのは良い
- ・人とのつながりがることが快適につながる
- ・西白井総合センターの梨飲み広場は、高齢者の交流の場になっている、このような場があると良い
- ・西白井には歩いて行ける範囲にいろいろあるが「無駄なもの」が不足
- ・若い子育て世代が利用する施設を駅周辺に集める
- ・アクセスしやすい場所にある西白井総合センターは稼働率が高い
- 【発想の転換が必要】
- ・10～20年には市への要望が多かったが、最近は生活環境が整ってきたから
- ・300人しかいない生徒、児童を分散させるのではなく、少数の小学校、中学校に集めるのが居るのでは
- ・今後の小学校、中学校をどうするのかをしっかりと考えるべき、子どもの数は減っている

・歩車分離で歩きやすいのでモビリティ自動化（ニュータウン内） ・自転車は使いやすいけど、走行するのが怖い区間がある（在東地区） ・多目的広場がある、子どもが遊べるのは良い ・中堅、若手の人たちが何を望んでいるかを知ることが必要 ・マンション管理組合と自治会を兼ねては ・駅からの遊歩道を歩くと気持ちいい ・知名度が低い、白井市っていいじゃない、っていう事になれば ・良い所を見て移り住んでくれることは良い ・七福神巡りなど楽しみ方はある ・シェアサイクルも無い、いろんな所に行けると良い ・駐輪場に空気入れが無い、リペア拠点になると良い ・物は来るが人が動きにくい ・配達、生協があれば買い物に困ることはない ・個人商店がおもしろいの、個人商店が市外に移転してしまう（駐車場が不足している） ・コストが低くて新しい事業が始められる場所、続けられる場所があると良い ・桜の名所が多い（ex.七次台公園） ・休める場所や駐車場が無いので行きたい観光地に行く条件が整っていない ・駅前にあまりにも何もない、若者が集まる場所がない ・若者を呼び込めるようなぎわいの施設があればいい ・県有地の暫定的な利用があったときには便利だった ・人が集まる大きな場所がない ・総合公園ができたことは大きい変化、活用をどんどん考えて行くべき ・イオンができるのは、子どもを育てる立場からは不要	・学校行政規模があっただけでできる教育がある ・ある程度の数が集まらないと部活もままならない、統合を考えていくべき ・少人数クラスだからできることもある ・少人数を分散するのではなく、1箇所の便利な場所に集めるのが良いのでは ・元気な高齢者をつくるための体操や活動 ・そのための拠点としての施設 【人手がなくても運行できる公共交通を目指す】 ・無人の自動運転実験を開始する ・通勤者でない人には都心への交通費 ・市が主導してバス路線を統合してはどうか ・住宅の価格、家賃が安い ・駅から離れたと住宅地にはバスが不便になってきている ・スクールバス、送迎バスなどは統合して運転手をシェアした方が良い ・二次交通が乏しい ・ナッシー号は日曜は休み ・なっしー号は日曜日に運休しているから高齢者が出かけられない ・なっしー号はいろいろな場所を循環するので遠回りルートになってしまう ・新鎌ヶ谷行きのなっしー号がなくなった ・バスの運転手が不足して便数が減ってしまった ・車を運転できない人にはバスが少なすぎるため、市内に行くより市外に行った方が良い ・市内の移動が考えられていない ・公共交通手段を改善してほしい ・ドル箱路線を無くしてしまった ・都心に出て行くのにちょうど良い距離 ・適度に緑がある ・市内の移動が考えられていない ・病院ごとにそれぞれのバスを送迎するより、なっしー号をその分走らせるほうが便利になるのでは
主な意見まとめ	
・緑が多い、混雑していない、人口がちょうどいい ○交通手段	

- ・市内の施設などに行く手段が乏しく、公共交通が不便
- ・自動車を手放してスムーズに移動できなくなった
- ・出生率が低く、生徒数が減少→学校でできる体験（クラブ、行事）の規模・幅が小さくなる
- ・学校を集約すれば、子どもの体験の幅が広がる。学校を集約に合わせて先進的な交通手段を提供して送迎する
- ・集まれるスペースが駅前がない。あってもアクセスが困難
- ・人がつながれる場所の整備が重要である
- ・先進的な技術、自動運転など、運用コストが低いシステムを導入して、市内を快適に移動できるようにする